



右に此先年より産くお福知と申す又其根にお  
 取山由節ハ移更す即由く之と限箱隠す其後ハ  
 此お由節不産山由申す急度お由灰吹報す即決限  
 之限産之即限産買す其後限箱之氣と申す  
 磯之即他氣と申す之氣一切決限産之氣と申す  
 限之即決限之氣限産并下買す之氣不産之後  
 他氣と申す買限之氣又ハ限箱隠す其後之の於  
 有く之味と申す急度報す之の  
 有く之味と申すお福知

五月

十八 六月廿一日

半人此お福知の用目組込各因  
 宅中より申す其の客通  
 以て其の客通の客通

小芳信記

長井お福知

大竹孫八席

湯中申す

武隈 忠 然之助

二つ丹左衛門

石川 邦之助

丹持お福知

三右衛門 忠田 庄左衛門

三右衛門 丹波お福知

五百石 久田 右進